

平成28年度病害虫発生予察注意報第7号

平成28年11月1日
愛知 県

作物名：ハクサイ
病害虫名：アブラムシ類

- 1 発生地域 県内全域
- 2 発生程度 多い
- 3 注意報発表の根拠

(1) 10月下旬の巡回調査では、寄生株率が10.9%（平年0.8%、前年2.6%）、発生ほ場率が64.3%（平年17.9%、前年50.0%）で、ともに過去10年と比較して最も高かった。
(2) 名古屋地方気象台10月27日発表の1か月予報によれば、向こう1か月の降水量は平年並か少なく、平年に比べ晴れの日が多い見込みで、本虫の増殖に好適な条件である。

4 防除上注意すべき事項

- (1) 発生を認めたら、表を参考に早期に防除を行う。
- (2) 結球内部に寄生すると防除が難しくなるとともに、品質の低下を招く恐れがあるため、結球前の防除を徹底する。
- (3) 主に葉裏に寄生するので、薬液が葉裏にも十分かかるように丁寧に散布する。
- (4) 薬剤の使用に当たっては、収穫前日数に十分注意する。また、薬剤感受性の低下を避けるため、系統が同じ薬剤の連用を控え、ローテーション散布する。

表 ハクサイのアブラムシ類に対する主な防除薬剤

薬剤名	希釈倍数	使用時期	使用回数	系統
ハチハチ乳剤	1000～2000倍	収穫14日前まで	2回以内	フェノキシベンジルアミド
モスピラン水溶剤	2000～4000倍	収穫14日前まで	3回以内	ネオニコチノイド
アドマイヤーフロアブル	4000倍	収穫7日前まで	2回以内	ネオニコチノイド
パダンSG水溶剤	1500倍	収穫7日前まで	3回以内	ネライストキシン
アクタラ顆粒水溶剤	3000倍	収穫3日前まで	3回以内	ネオニコチノイド
コルト顆粒水和剤	4000倍	収穫3日前まで	3回以内	その他
スタークル／アルバリン顆粒水溶剤	2000～3000倍	収穫3日前まで	2回以内	ネオニコチノイド
ウララDF	2000～3000倍	収穫前日まで	2回以内	ピリジンカルボキサミド系

農薬の散布に当たっては、ラベルの表示事項を守るとともに、他の作物や周辺環境への飛散防止に努める。



図 ハクサイに寄生するアブラムシ類

- 5 連絡先
愛知県農業総合試験場環境基盤研究部病害虫防除室
電話 0561-62-0085 内線471